第84号

郵政産業ユニオン PIWU TOKYO
郵政産業労働者ユニオン東京地方本部
104-0031 東京都中央区京橋3-6-3
京橋通郵便局5F
TEL・FAX　03-3535-5447
piwutokyo@yahoo.co.jp

9月26日、臨時国会が始まりました。冒頭、安倍首相の所信表明演説が「・・・警察、自衛隊の諸君が任務にあたっている。この場から、心から敬意を表そう」と呼びかけ自から拍手。促された自民党席は総立ちで拍手。異常な国会の幕開けとなりました。

首相は、「働き方改革」で「長時間労働の慣行を断ち切ることが必要」と述べ、「同一労働・同一賃金」の実現に向けて年内をめどにガイドラインを策定する方針を示す。「『非正規』という言葉をこの国から一掃しよう」と耳障りの良い演説をしたが、本当に働く者の立場で考えているのでしょうか？

危ない「働き方改革」

政府は残業の上限規制を言いながら、残業代支払いをごまかす「裁量労働制の拡大」と年5日の有給休暇付与以外すべての労働時間関連の保護規定を除外する「高度プロフェッショナル制度創設」法案を出しています。

金銭で確実に首切りできる「解雇自由制度」や、社会保障改革とあわせて、生きがい就労だから安くて当然と、高齢労働者を低賃金で使う。採用から退職までの雇用と働くルールのすべてを大企業本位につくりかえる。これが本音では・・・。

「働き方改革」メニュー　と　ねらい

全労連新聞
第482号より

	実は・・・
長時間労働の是正	残業の上限規制は後回し。 残業代ゼロ法案で働かせ放題に
同一労働・同一賃金	低いほうの賃金に「同一」化、「人材活用の仕組み」で、正規・非正規の格差容認
解雇の金銭解決制度	裁判で解雇無効の判決でもお金を払えば解雇できる
高齢者の就労促進	社会保障改悪と低賃金労働者づくりの合わせ技
外国人労働者の活用	アジアなどからの労働者を奴隷的に搾取
人材ビジネスの規制	助成金（税金）でリストラを後押しし、人材ビジネスが丸儲け
労政審の変質・解体 （労働政策審議会）	労働者の発信権を弱め、大政翼賛的体質に変質